



のち
世のため後のため大事業を
成し遂げた国学者

はなわ ほきいち
塙保己一 (1746～1821年)

江戸時代の中頃の延享3(1746)年に武蔵国児玉郡保木野村(本庄市児玉町保木野)に生まれました。

7歳の時に病気のために失明し、15歳になって江戸に出て当道座(盲人の組織)に入り、検校雨富須賀一に弟子入りました。保己一は当道座での修業を積み苦勞を重ねて立身し、晩年には当道座の最高位である総検校に昇進しました。

保己一は国学者としても著名であり、「群書類従」の編さん、さらには和学講談所の設立及び運営、当道座の改革など多大な功績を残しています。中でも群書類従の編さんは41年を費やした大事業であり、正編666冊は、後編とともに現在、日本の文学・歴史等を研究するうえで欠くことのできない重要な資料となっています。



詳しくはこちら

Point

「塙保己一の生涯」という動画を公開しています。



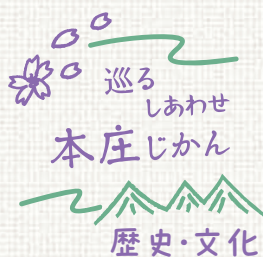
塙保己一記念館

保己一の遺品や関係資料を収蔵展示し、保己一の残した偉業について紹介しています。

所 児玉町八幡山368番地(アスパアこだま内)

☎ 0495-72-6032 開 午前9時～午後4時30分

休 月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月3日)



大切に守られてきた
今に繋がる 歴史や文化

偉大な国学者「塙保己一」や中山道最大の宿場町「本庄宿」など、日本で誇るべき数々の文化や遺産。本庄が大切にしてきたこの地の歴史や文化を辿ってみましょう。



寺坂橋

明治22(1889)年に旧伊勢崎道の元小山川に架けられた石造アーチ橋です。近代的な切石を用いたアーチ橋で現在現役の石造アーチ橋としては埼玉県最古の橋です。

所 中央2



旧本庄警察署

明治16(1883)年にコリント様式を採用して建設された本格的西洋建築です。2階のベランダにはアカンサスの葉を彫刻した柱が並ぶなどモダンなデザインが見られます。

※外観のみの見学となります。敷地内には入られません。

所 中央1-2-3

塙保己一旧宅

保己一が15歳まで過ごした家。入母屋造りの茅葺き2階建ての民家で、養蚕が行われた様子がうかがえます。

※外観のみの見学となります。敷地内には入れません。

所 児玉町保木野325



間瀬堰堤

昭和12(1937)年に埼玉県で最初に建設された本格的な重力式ダムです。東日本では最古の農業用重力式コンクリートダムとして貴重な近代化遺産です。

所 児玉町小平

養蚕と絹のまちのシンボル

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

明治27(1894)年に設立した本庄商業銀行が、担保の生繭や生糸を貯蔵するため明治29(1896)年に中山道沿いに建設しました。左右対称式の窓、二階は全面フロア、キングポストトラス式の釣り天井などの建築様式で、養蚕の町本庄当時の歴史的景観をとどめています。 所 銀座1-5-16 ☎ 0495-71-6685

Point

絹産業で培われた技術は、「本庄織物(本庄緋)」として今も受け継がれている伝統品です。➡詳しくはP33



競進社模範蚕室

養蚕技術の改良に一生を捧げた木村九蔵が明治27(1894)年に競進社伝習所地内に建設した蚕室です。

所 児玉町児玉2514-27 ☎ 0495-71-1121

開 午前9時～午後4時30分

休 月曜日(休日の場合は翌日)、
年末年始(12月28日～1月3日)

児玉町旧配水塔

昭和6(1931)年に建設されたこの配水塔は、埼玉県で唯一の塔型の高架水槽です。外見は塔型で内部の上層に貯水槽を設け、下層にポンプ室を配置しています。

所 児玉町児玉323-2



Honjo Photo Gallery

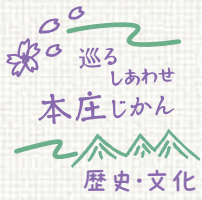


陸船車



土器に興味津々





かなさな
金鑽神社

中山道本庄宿の西端に位置し、本庄宿の総鎮守として崇敬された神社です。弘治2(1556)年に本庄城を築いた本庄実忠により勧請され本庄領の総鎮守となりました。

所 千代田3-2-3

Point

建立時に献木したものと伝えられているクスノキは、幹回り10m、高さ30mで、北関東では最も大きいクスノキです。



八幡神社

永承6(1051)年、源義家が奥州合戦の際にこの地に立ち寄り祭壇を設けて戦勝を祈願し、勝利後、再び立ち寄って石清水八幡宮を勧請したと伝えられています。

所 児玉町児玉198



雉岡城跡

雉岡城は別名を八幡山城ともいい、戦国時代初期に関東管領山内上杉氏が築いたと伝えられます。春には桜の名所として、親しまれています。

所 児玉町八幡山446



本庄市ガイド／まちの情報ツール

中山道最大の宿場町だった本庄

本庄城廃城後まもなく、城の南方に中山道が整備され、城下町も移動し本庄宿が誕生しました。ここは、交通拠点としての地の利があり、中山道を中心に越後、信州、周辺各地への分岐点となった地域でした。天保14(1843)年には人口4,554名、家数1,212軒と、中山道最大の宿場町にまで発展しました。



中山道分間延絵図・本庄宿(模写)



Honjo Photo Gallery



河内ハイキングコース



冬の間瀬湖

本庄の歴史・文化の魅力を発信

本庄早稲田の杜ミュージアム

本庄市と早稲田大学が共同で運営するミュージアムです。市展示室には、市内の古墳から出土した埴輪を展示するエリアと、今からおよそ2万年前に始まる本庄の歴史を考古資料と映像・年表でたどるエリアがあります。大学展示室では、大学が所蔵する500万点以上の貴重な文化財の中から定期的に企画展示し、公開しています。本庄そして世界の歴史や文化の魅力を感じに、ぜひお越しください。

所 西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階

☎ 0495-71-6878 開 午前9時～午後4時30分

休 月曜日(休日の場合は翌日) 年末年始(12/28～1/3)



本庄に最初にきた人々が残したもの

本庄で最古級の遺物は、小島石神境遺跡と西五十子田端屋敷遺跡で発見された、今から20,000年以上前の旧石器。主に長野県の和田峠付近で産出する、黒曜石で作られたナイフ形石器です。



たてもちじんぶつ
盾持人物埴輪

全国的にも珍しい笑う表情を持つ埴輪です。頭にかぶり物をつけ、大きな耳と鼻を持ち、口には歯を表現した痕跡があります。およそ1,400年前に作られた「前の山古墳」から出土しました。

ガラス小玉鑄型の完形品

薬師堂東遺跡は古墳時代中期から平安時代前半にかけての集落遺跡で、竪穴住居跡から7世紀中頃のガラス小玉鑄型188点が出土しました。そのうち1点は全国で唯一の完形品です。



私たちのまちの貴重な文化財情報を発信中!

市の文化財の魅力を皆さんに伝えるために、インスタグラムで情報を発信しています。皆さんも「#本庄文化財めぐり」でぜひ投稿してみてください。



Honjo Photo Gallery



金鑽神社のクスノキ



若泉公園の桜